

広島市感染症週報

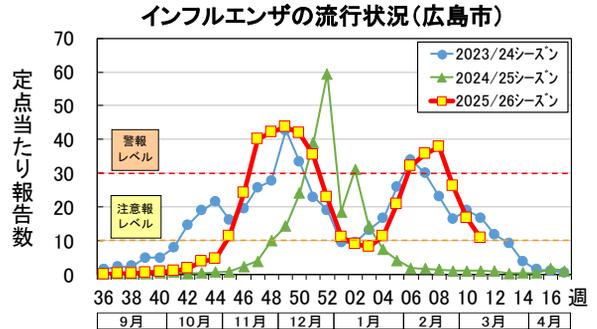
広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり10.59人の報告がありました。減少傾向ですが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が10件報告されており注意が必要です。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第11週 A型:1人、B型:61人



2 感染性胃腸炎

定点当たり8.62人と、多い状況が続いています。また、ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が、3月以降に5件報告されています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.00人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、苺舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね
												急増	急減	1:2以上の増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2041	60.03		⇒	小児科	突発性発しん	6	0.29	0.26		↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	360	10.59	6.35	⇓		ヘルパンギーナ	2	0.10	0.05		↘	↙	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	18	0.53		⇒		流行性耳下腺炎	3	0.14	0.03		↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	9	0.43	0.38		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-				ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	2	0.10	0.36			流行性角結膜炎	6	0.75	0.28				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	3.00	1.16	⇓	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	181	8.62	7.70	⇓		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	5	0.24	0.09			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.03				
	手足口病	-	-	0.16			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	29	20歳代・1人、20歳代・推定感染地域: 国外・1人、40歳代・1人、80歳代・2人
4	レジオネラ症	1	3	70歳代・市外
5	ウイルス性肝炎	1	1	20歳代・B型
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	梅毒	4	20	30歳代・2人、30歳代・推定感染地域: 国外・1人、40歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
広島市	第7週	2,599	1,212	23	6	2	33	204	7	2	1	3	-	1	-	1	-	-	-	3	-	1
	第8週	2,738	1,283	22	5	7	42	223	9	-	-	5	1	-	-	5	-	-	-	4	-	-
	第9週	2,098	889	18	11	4	46	164	6	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	2	-	1
	第10週	1,914	569	21	11	5	35	163	7	-	1	3	-	1	-	3	-	-	-	4	-	1
	第11週	2,041	360	18	9	2	63	181	5	-	-	6	2	3	-	6	-	-	-	2	-	-
広島市 定点 当たり	第7週	76.44	35.65	0.68	0.29	0.10	1.57	9.71	0.33	0.10	0.05	0.14	-	0.05	-	0.13	-	-	-	0.50	-	0.17
	第8週	80.53	37.74	0.65	0.24	0.33	2.00	10.62	0.43	-	-	0.24	0.05	-	-	0.63	-	-	-	0.67	-	-
	第9週	61.71	26.15	0.53	0.52	0.19	2.19	7.81	0.29	-	-	0.10	-	-	-	0.50	-	-	-	0.33	-	0.17
	第10週	56.29	16.74	0.62	0.52	0.24	1.67	7.76	0.33	-	0.05	0.14	-	0.05	-	0.38	-	-	-	0.67	-	0.17
	第11週	60.03	10.59	0.53	0.43	0.10	3.00	8.62	0.24	-	-	0.29	0.10	0.14	-	0.75	-	-	-	0.33	-	-
全国	第9週	65.07	22.68	1.34	0.49	0.22	2.22	6.32	0.29	0.05	0.12	0.18	0.01	0.02	0.01	0.36	0.02	0.03	0.25	0.01	0.06	
	第10週	60.08	14.33	1.26	0.57	0.25	2.80	6.52	0.33	0.06	0.12	0.20	0.02	0.03	-	0.34	0.03	0.03	0.20	0.01	0.09	

■ STD(性感染症)・基幹定点報告状況(月報対象)の推移

報告数	報告週	報告地	STD(性感染症)定点												基幹定点								
			性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
広島市	1月	17	14	3	6	4	2	6	6	0	11	8	3	23	13	10	2	1	1	0	0	0	
	2月	26	22	4	12	10	2	9	8	1	8	8	0	22	15	7	0	0	0	0	0	0	
広島市 定点 当たり	1月	1.89	1.56	0.33	0.67	0.44	0.22	0.67	0.67	0.00	1.22	0.89	0.33	3.83	2.17	1.67	0.33	0.17	0.17	0.00	0.00	0.00	
	2月	2.89	2.44	0.44	1.33	1.11	0.22	1.00	0.89	0.11	0.89	0.89	0.00	3.67	2.50	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
全国	2月	2.17	1.11	1.06	0.86	0.33	0.53	0.47	0.32	0.15	0.58	0.43	0.15	2.68	1.70	0.98	0.05	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	

定点数 STD定点 9 基幹定点 6

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

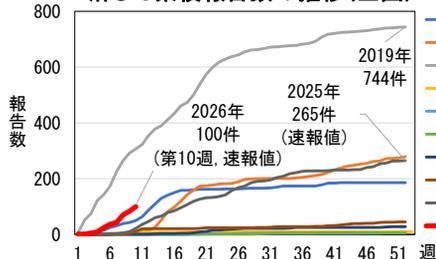
検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3N2	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	B型インフルエンザウイルス (ピクトリア系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第6週	16	7		5			1								2		1
第7週	17	12		2	8		1										2
第8週	20	15		12				1							1		1
第9週	17	12		10											3		
第10週	14	11		7			2			1	1						

*同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】麻しん(はしか)が増加しています(全国)

麻しん累積報告数の推移(全国)



全国で、麻しんの報告が続いています。今年の累積報告数は第10週時点で100件となり、2017年以降で最も多かった2019年に次ぐ速いペースで増加しています。麻しんは、感染力が強く空気感染するため、予防にはワクチン接種が最も有効です。こどもの定期予防接種は早めに受けましょう。また、医療・教育関係者や海外渡航を計画している方も、麻しんの罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は、予防接種を検討しましょう。

【参考】麻しん(はしか)(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp